

第十回

言葉を整える

短くすることと、伝わるように整えることの違いを考える。

今日の中心漢字

述 訳 訂 削 詞 句 諭 謄

いっしょに覚える漢字

文	字	名	題	書	話
声	音	答	問	説	表

この回では、漢字の意味を確かめたあと、似た語を使い分け、短文で書き、最後に案内文の推敲を題材とした文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
述	ジュツ・のべる	考えや内容を言葉で表す 述べる・記述・前述	詞	シ	言葉／言葉の種類 名詞・動詞・品詞・歌詞
訳	ヤク・わけ	別の言葉へ移す／事情・意味 翻訳・通訳・訳語	句	ク	ひとまとまりの言葉 語句・句点・俳句
訂	テイ	誤りを正しく直す 訂正・改訂	諭	ユ・さとす	分かるように言い聞かせる 説諭・諭す
削	サク・けずる	けずる／不要な部分を除く 削除・削減・添削	謄	トウ	原本どおりに書き写す 謄写・謄本

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
文	ブン・ふみ	言葉で書いたもの 文章・本文・作文	声	セイ・こえ	人や動物が出す音 音声・声量・発声
字	ジ・あざ	文字／表記の単位 文字・漢字・字形	音	オン・おと	耳に聞こえるもの 音読・発音・音声
名	メイ・な	名前を表す 名称・名作・名詞	答	トウ・こたえる	問いに応じる 答案・解答・応答
題	ダイ	表題／取り組む問い 題名・問題・課題	問	モン・とう	たずねる／確かめる 問題・質問・疑問
書	ショ・かく	書く／書かれたもの 書写・読書・文書	説	セツ・とく	意味や考えを明らかにする 説明・説得・小説
話	ワ・はなす	言葉で伝え合う 会話・話題・対話	表	ヒョウ・あらわす	外に示す／おもて 表現・発表・表面

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「記述・陳述・前述」の「述」に共通する意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 原本どおりに写す
- イ 不要な部分を取り除く
- ウ 考えや内容を言葉で表す
- エ 別の言語へ意味を移す

(2) 「翻訳・通訳・訳語」に共通する働きとして最も近いものを選びなさい。

- ア ある言語の意味を、別の言語で伝える
- イ 言葉の誤りを必ず残す
- ウ 文章の題名を決める
- エ 声の大きさを整える

(3) 「訂正」と「改訂」の関係として最も適切なものを選びなさい。

- ア 訂正は音だけ、改訂は文字だけを直す
- イ 二語は反対の意味である
- ウ 訂正は書き写すこと、改訂は読み上げること
- エ どちらも直す働きを持つが、改訂は文書や規則を改める場合に使いやすい

(4) 「削除」と「削減」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 削除は付け加えること、削減は写すこと
- イ 削除は対象を取り除き、削減は量や数を減らす
- ウ 削除は人だけ、削減は場所だけに使う
- エ 二語は「訂正」と同じ意味である

(5) 「品詞・歌詞・名詞」の「詞」が表すものとして最も近いものを選びなさい。

- ア 言葉
- イ 建物
- ウ 道具
- エ 時間

(6) 「謄本」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 話した内容を短く省いたもの
- イ 誤字を直すための記号
- ウ 原本の内容を写して作った文書
- エ 外国語を聞き取るための音声

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 記述 訳語 訂正 削除 名詞 語句 説諭 謄写 題名 書写 話題 音声 答案 表現

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| (1) 調査で分かったことを、根拠とともに（ ）する。 | (8) 保存用に、古い名簿を丁寧に（ ）する。 |
| (2) 英語の waterfront に合う日本語の（ ）を検討した。 | (9) 文章全体の内容をよく表す（ ）を付ける。 |
| (3) 日時の誤りを見つけ、案内文を（ ）した。 | (10) 手本を見ながら、短い詩を（ ）する。 |
| (4) 内容の重なる一文を（ ）した。 | (11) 会議では、案内板の言い回しが（ ）になった。 |
| (5) 「広場」「記憶」は、ものや事柄を表す（ ）である。 | (12) 文字を読みにくい人のため、（ ）案内を付ける。 |
| (6) 意味の取りにくい（ ）を、分かりやすく言い換える。 | (13) 提出前に、自分の（ ）を読み返す。 |
| (7) 先生は危険な使い方をした生徒を、落ち着いて（ ）した。 | (14) 同じ内容でも、（ ）が変われば印象も変わる。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「記述」と「説明」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 「記述」は事実・考えなどを書き表すこと。「説明」は、意味や理由を相手に分かるように述べること。
- イ 「説明」は事実・考えなどを書き表すこと。「記述」は、意味や理由を相手に分かるように述べること。
- ウ 記述は「道具の仕組みを（ ）する」だけに、説明は「観察結果を（ ）する」だけに使う。
- エ 「観察結果を（ ）する」と「道具の仕組みを（ ）する」では、記述と説明を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「訂正」と「添削」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 「添削」は誤りを正すこと。「訂正」は文章を直し、よりよい表現にするための助言も加えること。
- イ 訂正は「作文を（ ）する」だけに、添削は「日付を（ ）する」だけに使う。
- ウ 「日付を（ ）する」と「作文を（ ）する」では、訂正と添削を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 「訂正」は誤りを正すこと。「添削」は文章を直し、よりよい表現にするための助言も加えること。

(3) 「削除」と「省略」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 「省略」は対象を取り除くこと。「削除」は、文脈上なくてもよい部分をはぶいて示さないこと。
- イ 「削除」は対象を取り除くこと。「省略」は、文脈上なくてもよい部分をはぶいて示さないこと。
- ウ 削除は「途中の説明を（ ）する」だけに、省略は「登録情報を（ ）する」だけに使う。
- エ 「登録情報を（ ）する」と「途中の説明を（ ）する」では、削除と省略を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「題名」と「課題」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 「課題」は文章・作品に付ける名。「題名」は、解決すべき問題や取り組むべき事柄を表す。
- イ 題名と課題は意味の違いがなく、どの文でもそのまま入れ替えられる。
- ウ 「題名」は文章・作品に付ける名。「課題」は、解決すべき問題や取り組むべき事柄を表す。
- エ 題名は課題の改まった言い方にすぎず、指す内容や使う場面は同じである。

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 会議で出た意見を、要点ごとにキジュツした。 | (9) 文章の内容に合うダイメイを考える。 |
| (2) 外国語の案内文を、日本語へホンヤクする。 | (10) 手本を見ながら、短い詩をショシャする。 |
| (3) 日付の誤りを見つけ、すぐにテイセイした。 | (11) 会議では案内板の表現がワダイになった。 |
| (4) 内容の重なる一文をサクジョした。 | (12) 目の不自由な人のためにオンセイ案内を付ける。 |
| (5) 「広場」は場所を表すメイシである。 | (13) 試験後に自分のトウアンを読み返す。 |
| (6) 意味の取りにくいゴクを言い換えた。 | (14) 順を追ってセツメイすると伝わりやすい。 |
| (7) 先生は危険な行動をした生徒をセツユした。 | (15) 同じ内容でも、ヒョウゲンで印象は変わる。 |
| (8) 保存用に古い資料をトウシャした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (16) 文字 | (17) 質問 | (18) 声量 | (19) 句点 | (20) 前述 |
| () | () | () | () | () |

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

残す一文、削る一文

広場の開設を一週間後に控え、真琴たちは入口に置く案内板の文章を任された。題名は「川辺の小さな広場」。名称の由来、利用時間、災害時の役割まで記述した初稿は、事実の誤りこそ少なかったが、文字がびっしり並び、声に出して読むと息が続かない。話し合いで翔が「説明は多いのに、何を一番伝えたいのか答えにくい」と述べると、真琴も同じ問題を感じた。

まず、同じ内容を繰り返す語句を削除し、長い一文を二つに分けた。開設年の誤りは訂正した。ただし、短くするほどよいわけではない。「昔、この場所には『水音の庭』と呼ばれた休憩所があった」という一文まで削ろうとしたとき、町会の佐伯さんが、古い文書の謄写本を机に置いた。そこには、その名を新しい広場にも残してほしいという住民の願いが書かれていた。

「今すぐ役立つ情報だけが、大切な情報とは限らないよ」

佐伯さんは穏やかに諭した。案内板は規則を表すだけでなく、この場所がどんな時間を受け継いだかを伝えるものでもある。真琴たちは、その一文を残し、代わりに意味の重なる修飾語を減らした。

一方、外国語版を担当したリナは、英語に翻訳しにくい表現を二つ挙げた。「憩い」と「寄り合い」である。辞書の訳語をそのまま当てても、町の人が感じる温かさまでは届かない。名詞を置き換えるだけでなく、どんな場面を指すのかを短く説明する必要がある。そこで案内板の下に音声案内への二次元コードを添え、話し言葉でも補えるようにした。

【初稿の一部】 この広場は、住民相互の交流促進及び緊急時の一時避難のために設置された施設であり、利用者は別記の注意事項を遵守して利用してください。

【改稿の一部】 ふだんは、人が集い、休むための広場です。災害時には、一時避難場所になります。安全のため、次の約束を守ってください。

改稿を読み比べると、情報は減っていても、役割はかえって見えやすい。掲示の前日、真琴たちは小学生と高齢者に試し読みを頼んだ。小学生は「水音の庭って何」と質問し、高齢者は文字の大きさについて意見を述べた。二つの声を受けて、由来の一文には短い補足を加え、注意事項は箇条書きに改めた。

真琴は、削った字数の多さが推敲の成果なのではないと気づいた。訂正や削除は、文章を細くするためだけの作業ではない。読み手が何を知り、どこで立ち止まり、どんな問いを持つかを想像しながら、残す言葉を選び直すこと。その過程で、書き手自身も伝えたかったことを確かめ直すのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文と二つの案内文を根拠にして答えなさい。

(1) 佐伯さんが机に置いた、原本を書き写したものを表す三字の語句を、本文中から抜き出しなさい。

(2) 「ホンヤク」を漢字二字で書きなさい。

(3) 初稿の問題として、本文に最もよく合うものを選びなさい。

- ア 事実の誤りが多く、名称も書かれていなかった。
- イ 情報は多いが中心がつかみにくく、声に出しても読みづらかった。
- ウ 説明が短すぎて、利用時間しか分からなかった。
- エ 外国語版だけが先に完成し、日本語版がなかった。

(4) 真琴たちが「水音の庭」の一文を残した理由として、最も適切なものを選びなさい。

- ア 古い文書にある文章は、一字も変えてはいけないから。
- イ 案内板をできるだけ長くし、読む時間を増やしたかったから。
- ウ その名称に場所の記憶と住民の願いがあり、読み手の問いにもつながるから。
- エ その一文だけが外国語へ簡単に翻訳できたから。

(5) 初稿から改稿へ、案内文はどのように整えられましたか。40～55 字で説明しなさい。

(6) 本文全体を、「削る」「読み手」の二語を必ず使い、70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--|---|
| (1) ウ 「述」は、考えや内容を言葉として外に表す働きを持つ。 | (4) イ 削除は対象を取り除くこと、削減は量や数を減らすこと。 |
| (2) ア 「訳」は、意味を別の言語へ移して伝える働きを持つ。 | (5) ア 「詞」は言葉を表し、品詞や名詞のような語を作る。 |
| (3) エ 「訂」は直すこと。改訂は書物・規則・文章などを改める場合に使いやすい。 | (6) ウ 謄本は、原本の内容を写して作られた文書をいう。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 記述 | (8) 謄写 |
| (2) 訳語 | (9) 題名 |
| (3) 訂正 | (10) 書写 |
| (4) 削除 | (11) 話題 |
| (5) 名詞 | (12) 音声 |
| (6) 語句 | (13) 答案 |
| (7) 説論 | (14) 表現 |

確かめよう：誤りを直すのは「訂正」、文章をよくするために直し助言するのは「添削」。対象を取り除くのは「削除」、一部をはぶくのは「省略」。

五 似た語を使い分けよう

(1) **ア** 「記述」は事実・考えなどを書き表すこと。「説明」は、意味や理由を相手に分かるように述べること。

例：観察結果を記述する／道具の仕組みを説明する

(2) **エ** 「訂正」は誤りを正すこと。「添削」は文章を直し、よりよい表現にするための助言も加えること。

例：日付を訂正する／作文を添削する

(3) **イ** 「削除」は対象を取り除くこと。「省略」は、文脈上なくてもよい部分をはぶいて示さないこと。

例：登録情報を削除する／途中の説明を省略する

(4) **ウ** 「題名」は文章・作品に付ける名。「課題」は、解決すべき問題や取り組むべき事柄を表す。

六 短文で使ってみよう

(1) 記述	(11) 話題
(2) 翻訳	(12) 音声
(3) 訂正	(13) 答案
(4) 削除	(14) 説明
(5) 名詞	(15) 表現
(6) 語句	(16) もじ
(7) 説諭	(17) しつもん
(8) 謄写	(18) せいりょう
(9) 題名	(19) くてん
(10) 書写	(20) ぜんじゅつ

七 文章の中で考えよう

- (1) **謄写本** 「謄」は、原本どおりに写すという意味を持つ。
- (2) **翻訳** 「訳」は、別の言語へ意味を移して伝える働きを持つ。
- (3) **イ** 初稿は情報が多く、中心がつかみにくいうえ、音読もしづらかった。
- (4) **ウ** 古い名称には場所の記憶と住民の願いがあり、読み手の質問を生む働きもあった。
- (5) **解答例** (45 字)

重なる説明を削り、長い一文を分けながら、広場の役割と名称の由来が読み手に伝わる形へ改めた。

見る点：重なりを削ったこと／長い文を分けたこと／役割と由来を残したこと

- (6) **解答例** (73 字)

文章を整えるとは、単に言葉を削ることではなく、何を残せば読み手に必要な情報や場所の記憶が届くかを考え、反応を確かめながら表現を選び直すことである。

見る点：「削る」「読み手」を用いたこと／単なる短縮ではないと捉えたこと／反応を確かめて表現を選び直す過程を含めたこと